

秋葉原という町の品揃えもさることながら、その風景の変貌は凄まじい。かつては江戸の流れをくむ神田市場の分館があり、戦後に電気の町になり、ユタクの町になっていく。だって、伊勢丹発祥の地も秋葉原なんだと言っても、きつと誰も信じない。

秋葉原駅の電気街出口前の高層ビル群エリアに格好いい広場があり、(写真右1996年)



アトレが出来る前に

あった実演販売のメツカ・アキハバラデパート(写真左1992年)を見たことがない人々が、この町の最重要購買層。

伊勢丹発祥の地の記念碑は山際電気シヨールームと共に撤去され、広場もデパートもとつくに消え、秋葉原は次なる変容を目指して胎動しているのだった。

ヨメバ ワカル トハ カギラナイ・オモシロイ トハ カギラナイ

親切第一

高野金次郎商店

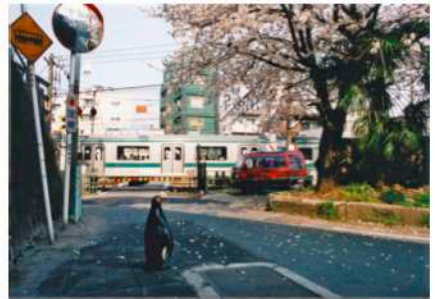
令和2年梅雨明け号

月刊希望

版元：東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-1-1F RXM04421@nifty.com

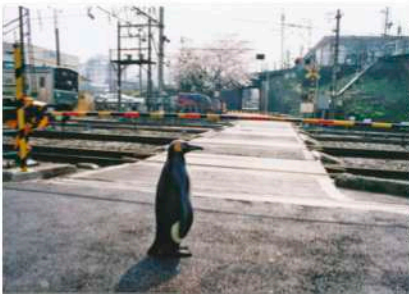
野暮な名の新駅が出来た我が山手線にも踏切がある。駒込、田端間にたったひとつ六時中閉まつてるが、もう撤去する訳にもいかないんだろうな。

池袋と目白の間にも踏切があった。設置には相当な紆余曲折があっただろうと思う、山手線ばかりか埼京線も貨物も通る幅広の軌道敷地なのに、逃げ場がない。とにかく一気



に渡りきらねばならぬ。その明治通り側の警報機脇には、立派な桜の巨木があつて、その見事な桜吹雪は、山手線車内からも見えるほどだった。

ある日、踏切は唐突な終焉を迎えたんだけど、何故一緒に桜の木まで伐採されたのか移植したのか、そこだけが分からない。今やどこに踏切があつたかすら、定かではなくなつた。(写真1998年)



汐入があった頃に



地元の人ですら陸の孤島と呼んだ汐入は、青島都知事時代にどかどか再開発が始まって、年季の入った長屋や銭湯や駄菓子屋が立ち退くたびにフェンスで囲われ、更地になって雑草が伸び放題な図式が続いた。

武家屋敷みたいな堂々たる門構えもあれば、小さな造船所もあり、路地や変則三叉路が張り巡らされて、缶蹴りが楽しかったに違い

ない。持ち主が去った商店や仕舞屋が並ぶ小道は、映画のセットみたいだった。使い込んだスバル360が鎮座するお宅も、引越越し作業の真っ最中。「来週またおいでよ、最後の柿をあげるから」と、車庫脇の立派な柿の木を見上げた。朽ち果てたような胡録神社も、今は立派に再建された。あの時、無理してでも柿を貰いに行けばよかったな。(写真1966年)



墨田の忘れもの

隅田川、吾妻橋を渡れば墨田区。東駒形界限は、身投げしようとした徳を助けたおじさんが住む本所達磨横丁あたり。大通り沿いのビル群から脇に入れば、まだ下町の匂いが残っていた。古めかしいラーメン屋や、ポテトフライを新聞紙に包む揚げ物屋もある。お約束の軒先庭園の隅の粗大ごみ(写真左1997年)。数年はここに陣取っていた可愛いテレビは一瞬持ち帰ろうとした。



子供の頃の記憶には微塵もないはずなのに、町工場の佇まいと匂いに、意味不明な郷愁が押し寄せてくる。業平でなくとも、墨田区の横道にはドラム缶と青いコナテナが鎮座する。波型トタン板と羽目板に囲まれていたら完璧だ。隙間に立って掛けられたオルガンに違和感が無いのも、街を流れる空気がお陰かも。たとえそれが二十一世紀であったとしても。(写真右2003年)。



大阪有情時代

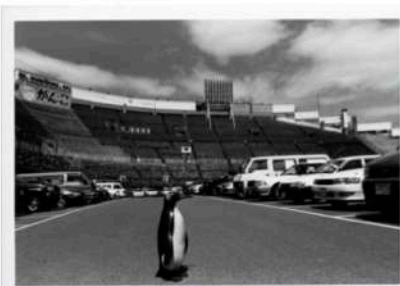
初めて大阪球場に行った時、難波駅に寄り添って建つ姿に感動した。でも既にここは住宅展示場だった。客席に囲まれ、モダンな建物と入場者の車が並ぶ光景は、なかなか衝撃的な世界だった。そういえば公式野球場のグラウンドに立ったのは初めてだったと、最終試合らしきスコアボードを見上げた。(左上写真1997年)

通天閣には二つエレベーターがあり、最初の古めかしいヤツに乗ると、展望台に行くエレベーターホール着く。そこに卓球台があった。窓の外は新世界という卓球場で、展望台行きエレベーターを待つ人々の前でラケットを振る酔狂。台の真後ろにあった手品ショップと同じくらい、哀愁のある風景。(左下写真1995年)



ギマギした。僕らに興味を抱いた呼び込みのオバチャンが、声を掛け、この街の仕組みを話してくれたんだ。(真上写真1998年)

大阪滞在中、玉手山遊園地が閉園するというニュースを偶然知った。売店でごさを貸してくれるような、のんびりした遊園地だった。その豊かな起伏には古墳もあるらしく、近所の高校の運動部がトレーニングに使ってるという、歴史ある近所遊園地。古式床しい観覧車は、難波の高島屋屋上にあった奴とさして変わらないサイズ。二子玉川園やあらかわ遊園風な風情の中を、傷だらけのウルトラマンが、野外劇場に向かって歩いてた。(左写真1998年)



地元の知人に撮影場所として案内された飛田は、衝撃の街だった。でもその実際は別として、雨上がりの独特の棟割長屋は、どこかしつとりと続いていた。早くこの場を離れたいような、もう少し歩きたいような不思議な感情。道端に銀の輔を置いて撮影していると、何処からともなく「恐いお兄ちゃんに叱られるでえ」の声にド



北口番外篇

K's Barカウンター
異聞

店も営業短縮や持ち帰りが、クリスマス時期に懐かしい」、「駅前

りを始めた。なりと悲しいツリーがにはセブイレブン

「北口商店街も二軒 侘びしく光る北口商店が戻ってきて、上にばかり閉店しまし 街入り口と都電の線路はエクセルシオー

た」、「です。伊タ 沿いの元駐輪場だったル」、「眼の前のス

リアンとラーメン屋が ところにも出来た。タバを見下ろす口

店仕舞い。南口の結構 「センスの良し悪しの ケーションです」、

長く営業してた焼肉屋 前に、ちよつと恥ずか 「向かいのプロン

と魚自慢の居酒屋が消 しかないですか?」、ト、ペンギンさんの

えましたよ」、「だけ 「そうなんですよ、地 店のビルのエイトデ

ど休業店は少なかった 方の頑張った再開発み イズの四つ巴でカ

です。 「飲み屋 たいで」、「フフフ、 フェバトルが勃発で

の街の面目躍如!」。 新幹線の駅が出来まし す。「脇の方から

「駅前再整備工事 た、みたいな」、「だつ そつと見守るルノ

も止まりました」、 たらいつそ、十条駅前 アール」、「今でも

長いこと休んでまし 「ああ、あのへなちよ みたくトコトンいけば あるんですかね、ル

編集後記のようなもの

前号からまたまた時 間が経ってしまい、申

し訳ありません。世の 中は相変わらず不穏で

す。パソコンまで不調 で、ソフトも動かなく

なって、新しい環境か らのリストアップです。

しばらくは落ち着かな い紙面になること、

ご容赦下さいませ。今 回は、古いフィルム写

真を手掛かりにした特 別編集ですんで、よろ

しくお願い致します。

大感謝配布協力

池之端・古書ほうろ う、雑司が谷・旅猫雜

貨店、法善寺横丁・洋 酒の店 路、目黒・ふ

げん社、浅草・珈琲ア ロマ、平井・平井の本

棚 http:// //shosenbe.hoo.jp

が、クリスマス時期に

なる

懐かしい

にはセブイレブン

が戻ってきて、上に

ばかり閉店しまし

街入り口と都電の線路

はエクセルシオー

た

「眼の前のス

リアンとラーメン屋が

ところにも出来た

タバを見下ろす口

店仕舞い

南口の結構

「センスの良し悪しの

ケーションです

向かいのプロン

しかないですか

ト、ペンギンさんの

そうなんです

地 店のビルのエイトデ

方の頑張った再開発

み イズの四つ巴でカ

です

脇の方から

駅前再整備工事

みたい

だつ

そつと見守るルノ

たらいつそ

十条駅前

アール

今でも

ああ

あのへなちよ

みたくトコトンい

ければ

あるんです

かね

ル

開いてたつて休んで

い

と鐘ヶ淵も大笑い

あれ

何なんです

か

い

いい

です

か

いい

です

部屋飲み大会

を始めた

OMO5や

ら

だから

何があ

って

飲

む

んで

笑

い

な

が

ら

去

っ